

平成11年度 和歌山県文化奨励賞

はし もと かず あき
橋 本 和 明

住 所：和歌山県有田郡湯浅町
出 身 地：和歌山県有田郡湯浅町
生 年：昭和33年

■現在
二科会会員
和歌山県美術展覧会審査員

◎業績及び経歴

昭和33年に湯浅町に生まれた氏は、昭和51年に金沢美術工芸大学彫刻科に入学し、塑像による自己表現の道を歩み始める。

大学在学中から出品を始めた二科展では、卒業後の昭和55年に早くもその実力が認められ、竹の台賞を受賞する。

昭和57年からは、智辯学園和歌山中学・高等学校で教鞭を執りながら、もって生まれた才能に磨きをかけることを怠らず、二科展・特選、関西二科展・関西二科賞、第1回ロダン大賞展・優秀賞等、数々の栄誉ある賞を受賞し、昭和61年には二科会会友に推挙され、一躍、和歌山県の彫刻界のホープとなる。

さらに、2度の関西二科展・関西二科特賞や二科展・会友賞、TUES賞の受賞等のめざましい活躍により、平成10年に二科会会員推挙を受ける。

氏の作品は、一貫して人間の存在を問い続け、人間の歴史の始まりからとぎれることなく続けられてきた「人間表現」を追求することを主題とするものであり、氏は、作品を通じて、人体彫刻の可能性をより深く表現し、人間の生と死の間に貫かれているであろうものを探っていきたいと情熱を燃やし、今という時代に生きる自分がすべき意味を問い続けている。

県外における多数の個展の開催や美術館等公共施設における多数の作品の展示等、県内はもとより県外においても実力を認められている氏は、平成6年から和歌山県美術展覧会の審査員を務めるなど、本県の文化振興に寄与している。

■主な表彰歴

昭和55年 第65回二科展・竹の台賞
昭和57年 第67回二科展・特選
昭和61年 第1回ロダン大賞展・優秀賞
平成2年 第75回二科展・会友賞
平成9年 TUES1997橋本和明展・TUES賞
平成10年 第83回二科展・会員推挙